

鋼材製造工場による空気の汚れ・騒音・振動問題

中川区の工場で、ひどい時には 20 メートル先の家が見えないような空気の汚れ、大型爆弾が破裂したかとも錯覚する騒音、身体が浮き上がるほどの振動が発生しました。

| 年代 | ことがら |
|---------------------|---------------------------------|
| 1961 年 (昭和 36 年) | 周辺 7 町内会の住民が問題解決のための団体を結成。 |
| 1962 年 (昭和 37 年) | 2,462 名の署名により、国、県、市等に要請行動。 |
| 1965 年 (昭和 40 年) | 住民が名古屋地方裁判所へ訴えを提起。 |
| 1967 年 (昭和 42 年) | 県と市が工場に対して改善命令を発令。 |
| 1971 年 (昭和 46 年) | 工場から出る空気に有害な物質が見つかり、住民の健康診断を実施。 |
| 1974 年 (昭和 49 年) | 県・市の立会いのもと、住民と工場で公害防止協定を締結。 |
| 1975 年 (昭和 50 年) | 工場の倒産。 |

鉄工所による騒音・振動問題

中川区の鉄工所でエアーハンマーによる騒音・振動が発生しました。

| 年代 | ことがら |
|---------------------|---|
| 1961 年 (昭和 36 年) | 市に騒音・振動問題が持ち込まれる。県と市が協力しながら、工場の移転を含め対策の推進を図るが、完全な防止対策が難しい状況が続く。 |
| 1966 年 (昭和 41 年) | 町内会で公害対策委員会が組織される。 |
| 1967 年 (昭和 42 年) | 県と市が工場に対して改善命令を発令。工場が基礎工事を行い、振動が条例の基準内となる。騒音は依然として基準をこえる。 |
| 1968 年 (昭和 43 年) | 8 世帯 36 名が原告となって損害賠償請求の訴えを起す。 |
| 1970 年 (昭和 45 年) | 裁判において原告（住民）が勝訴。被告控訴、1972 年（昭和 47 年）和解。 |
| 1975 年 (昭和 50 年) | 工場の移転。 |